

報告日 令和7年11月6日

報告回次 2日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	桐生市			代表者名	荒木 恵司
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	総務部DX推進室	連絡先電話番号	0277-32-4185
担当者役職	主任	担当者氏名	中村 行每	連絡先E-mail	
住所	3768501 群馬県桐生市織姫町1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	生成AI活用研修		
概要	各課のDX推進リーダーを対象とした、業務における生成AIの活用に向けて、生成AIの基礎概要や生成AI活用の進め方や留意点のポイントなど、業務における生成AI活用の基礎知識・基礎スキル・プロンプトの習得を目的とした研修を実施いただきたい。				
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 生成AI活用				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	657	令和7年11月4日	講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月11日	講演(実地)	14時00分	16時00分	
				活動時間（分）	120

2-2.

派遣場所	会場名	桐生市役所4階 委員会室	最寄駅	JR 桐生駅東武鉄道 新桐生駅
	所在地	群馬県桐生市織姫町1番1号	最寄駅からの交通手段	徒歩又はバス

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大山 水帆
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	- 生成AIの基本的な説明から、他市事例を踏まえた自治体事務における実践的な内容を講演いただいたこと。 - 本市が導入している生成AIシステムに添った内容で、職員に実践練習させていただけたこと。 - プロンプトの基礎から、プロンプト作成のためのステップアップの部分まで講演内容に含めていただいたこと。
アドバイザーへの要望事項	今後も機会がありましたら、庁内の生成AI普及のための相談等のご支援をいただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	61人
	自治体職員	住民	企業・団体
人数	61		その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本市ではすでに生成AIを導入しており、業務プロセス改善のための1つのツールとして全職員に活用を推進しているが、実際に業務利用している職員が限られており、有効に活用されていない点が課題となっている。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	令和7年度末までに、職員全体での月当たりの生成AI利用率を1割から2割に増加させる。生成AIを職員が効果的に活用することにより、定型的な文書作成などの業務からの解放により業務が効率化され、職員が専門的な業務に従事する時間が増加し、窓口や電話等による直接市民と関わる部分でのより丁寧な対応や、相談時間の確保等による、住民サービスの質を向上させることを目指している。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	「桐生市職員向け生成AIの活用研修」として、本市で各課から選出しているDX推進員向けに生成AIの基礎から業務への活用方法・場面まで講演いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	まだまだ利用率の低い生成AIの活用場面を各職員が想像できるようになり、実践練習の際にもイベントのキャッチコピーを作成している職員もいた。 生成AIは完璧な回答を作り上げるものではなく、アイデアのきっかけとして活用できるということに参加した職員が良く理解できたと思うので、今後の利用率拡大が見込まれる。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 なし	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E LやP D Fでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート集計中のため、準備ができ次第送付します。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する 既に生成AIは導入済みであるため、今後も普及促進のため研修等を実施いたしたい。
4－4. 事業の最終的な目指す姿	・各課DX推進リーダーが生成AIの基礎を理解し、業務に活用できる。 ・生成AIの利便性が広まり、一般職員の利用率が上昇する。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	☐ 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

